

水路や堰を活用する

# 小水力発電



こんな水路を探しています！

水路の落差を利用して発電するため、水路の傾斜や、堰などが必要になります。  
事業化の可能性を調査検討するために、まずは情報提供をお願いいたします。

## メリット1 発電した電力を売って地域の新たな財源が確保できます！

### 事例：松隈小水力発電所（佐賀県吉野ヶ里町）

地区の年間予算は、約130万円。農地や山林、道路、水路の維持管理には財源が必要です。



地域住民が主体となり、  
地区の農業用水路を用いた  
小水力発電所を設置

売電による収益を利用し、地区内の農地・山林・水利施設の維持管理活用を図ることができています。



子供の未来



維持管理

## メリット2 発電した電力を自分たちで使うことができます！



資料：HAPPY ENERG(株)HP

### 事例：岐阜県石徹白地区

自分たちの地域資源で発電した電力を使い、電力会社への支払い無しで、農業、農産物加工、カフェ運営などを地域住民が行い、その活気に惹かれて移住者も増えています。

主力農産品のトウモロコシを加工した商品が人気で、この商品を使ったカフェも、地域の電力を使って運営しています。

## メリット3 水路や山道の整備により、草刈り等の維持管理が楽になる可能性があります！

### 事例：落合平石小水力発電所（岐阜県中津川市）

中山間地域の補助金と地元住民の負担金により、大正時代につくられて老朽化した水路の維持管理を行っていましたが、発電所の建設のため改修することにより、負担金が大幅に削減されました。

【調査主体】 雲南市 環境政策課 Tel. 0854-40-1033  
Mail. kankyouseisaku@city.unnan.shimane.jp

【委託先】 株式会社エブリプラン Tel. 0852-55-2100  
門野・山田・勝部

【HP】 <https://onl.la/L1dQKhL>（雲南市の専用サイトです）

お問合せ・  
情報提供先



# こんな水路を探しています！



農業用水路の落差利用の例：波田堰小水力発電所（長野県松本市）

設備設置前



設備設置後



資料：「小水力発電施設の実施事例」（長野県）

農業用ため池の例：長橋溜池発電所（青森県）

かんがい用水とため池の水位と放流地点の高低差を利用

設備設置前



設備設置後



資料：国土交通省

既存の農業用水路の落差利用の例：百村第一・第二発電所

開拓建設事業の農業用水路の落差を利用

設備設置前



設備設置後



資料：国土交通省

ここはいけるかな？と思ったら、ご一報を！

